

危険度900%の ニカラグアでM6クラス地震

昨年5月以来の規模

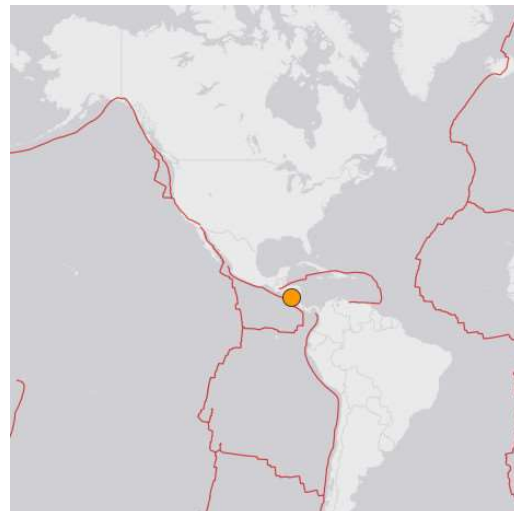
前号で危険度が900%を超えていた中米・ニカラグアで01月03日にM6クラスとなるM5.5の地震が発生した。ニカラグアでM5.5を超える規模の地震が起きたのは昨年5月のM5.9以来8ヶ月ぶり。

今回ニカラグアとしては比較的珍しい地震が発生した形だが、対象となるM6.5以上の地震ではなかったことから、危険度は引き続き900%となつている。

12月25日から01月03日の期間に発生した地震は他にも危険度20%であったカナダでM6.3が起きた他、01月02日には危険度300%のイランでM5.5の地震が観測された。また12月25日には東太

平洋海嶺でM5.8の地震が記録されたが、当社の算出ではこの期間、東太平洋海嶺における危険度は257%と高かった。

それ以外では01月02日にソロモン諸島でM5.5、インドネシアでM5.5、日本でも千葉県東方沖でM5.6（気象庁によるとM5.9・震度4）が観測され、これらの地域における危険度はいずれも40%〜50%台と低かったが、元々地震の多い国々であり、地震発生率はソロモン諸島26.6%、インドネシア30.4%、日本26.7%と高かったことから、M6を超えない規模であったことからも通常の発生状況を逸脱した地震だったと言えない。



年末年始の主な地震と危険度対応一覧
(2019年12月25日～2020年01月03日)

12月25日	M6.3	カナダ	206%
12月25日	M5.8	東太平洋海嶺	257%
12月26日	M5.5	ニューカレドニア	94%
01月02日	M5.5	イラン	300%
01月02日	M5.5	インドネシア	46%
01月02日	M5.5	ソロモン諸島	55%
01月02日	M5.6	日本（千葉県）	42%
01月03日	M5.5	ニカラグア	900%

各国の危険度指数は ほぼ変わらなず

前回から今回にかけてはM6.5以上の地震が発生しなかったことから、世界的に地震発生率及び危険度指数に大きな変更はなかった。危険度が900%と高かったニカラグアでは昨年5月以来のM5.5以上が起きたものの引き続き危険度が高い状態が続いている。

また北米大陸ではアラスカが400%である他、米国で216%、カナダが206%といずれも危険度が高くな

2019年の年末から20年の年始にかけては、2年ぶりにM6.5を超える規模の地震が発生しない年末年始となった。前年は18年12月29日にフィリピンでM7.0、12月31日にアラスカでM6.0の地震がそれぞれ起きていた。2017年の年末から1

2年ぶりM6.5以上 なしの年末年始

8年の年始にかけては地震が観測されなかったが、16年末から17年初にかけてはチリでM7.6やインドネシア・フィジーでそれぞれM6超え、また15年末から16年初、14年末から15年初にかけてもそれぞれM6を超える規模の地震が2回ずつ発生していた。

必要だろう。米国では西海岸で中小規模の地震が断続的に発生している。日本付近でも千島列島からロシアにかけての

帯で危険度が高くなっている。ロシアで462%を記録している他、千島列島で377%、オホーツク海でも120%と平常より地震が起きやすい状態であり、注意が必要だ。危険度指数の前回からの変化はフィリピンが前回比110%、フィジーが前回比103%とそれぞれ若干危険度が上昇した他、パプア

【ご注意】本号は「海外地震レポート」創刊準備号です。制作に当たっては実際のデータを使用していますので、本号の転載・転送や再配信、データの利用はご遠慮下さい。 合同会社イイチロ

ニューギニア、インドネシア、ペルーでも前回比101%となつている。一方、チリでは前回比94%と危険度が多少低下している。

地震NEWS

国内の地震に関する情報は当社が運営する地震解説メディア「地震NEWS」もご利用下さい。

BiglobeNews、ExciteNewsでも配信しています。

<https://jishin-news.com/>

前回以降のM6.0以上地震

12月25日 M6.3
カナダ

今年のM6.0以上地震状況

M6.0以上 000回 (前年143回)
M6.5以上 00回 (前年 33回)
M7.0以上 00回 (前年 10回)

これまでの最大規模地震(前年)

01月02日 M5.6 日本
(05月26日 M8.0 ペルー)

2020年01月03日 (UTC) まで

各種データ

地震発生率一覧

当該国における2ヶ月以内のM6.5以上地震発生確率を最近の世界地震発生状況から算出しています。

01.	40.0%	メキシコ
02.	32.0%	パプアニューギニア
03.	30.8%	インドネシア
04.	30.0%	ニカラグア
05.	27.4%	フィリピン
06.	26.7%	アラスカ
07.	26.7%	日本
08.	26.6%	ソロモン諸島
09.	24.2%	アリユ列島
10.	23.7%	トンガ
11.	23.4%	フィジー
12.	23.1%	ロシア
13.	22.5%	中国
14.	20.3%	ニュージーランド
15.	20.2%	チリ
16.	20.0%	コロンビア
17.	18.9%	千島列島
18.	18.0%	米国
19.	17.7%	ペルー
20.	17.1%	アルゼンチン

2020年01月03日現在

危険度指数一覧

2ヶ月以内のM6.5以上地震発生危険度を現在の状況及び当該国の発生頻度から算出し指標化しています。各国毎の相対的な危険性を示しています。

01.	900%	ニカラグア
02.	462%	ロシア
03.	400%	アラスカ
04.	400%	コロンビア
05.	377%	千島列島
06.	300%	イラン
07.	284%	トンガ
08.	270%	中国
09.	257%	アルゼンチン
10.	216%	米国
11.	212%	ミャンマー
12.	206%	カナダ
13.	192%	ギリシャ
14.	160%	メキシコ
15.	145%	アリユ列島
16.	120%	エクアドル
17.	120%	オホーツク海
18.	118%	ペルー
19.	110%	ニュージーランド
20.	88%	フィジー

2020年01月03日現在

危険度指数変化

前回から危険度指数が変化した国について、上昇率・下落率それぞれの上位を示しています。

上昇率上位 (前回比)

01.	110%	フィリピン
02.	103%	フィジー
03.	101%	パプアニューギニア
04.	101%	インドネシア
05.	101%	ペルー

下落率上位 (前回比)

01.	94%	チリ
-----	-----	----

2020年01月03日現在

※本紙記事及び掲載データの転載は固く禁じます。※本紙掲載データの営利利用に際しては当社との間に別途コンサルティング契約が必要となります。※本紙は地震の発生・不発生を保証の責任を負いかねます。※画像は気象庁及び米国地質調査所より。

海外地震レポート

第00002号

2020年01月04日発行

発行社：合同会社イイチロ

発行人：門田威一郎

東京都新宿区西新宿1-26-2

新宿野村ビル32F

電話：03-5322-2895

URL：<https://iichiro.com/>